

名古屋大学大学院生命農学研究科
 応用生命科学専攻土壌生物化学研究室助教（女性限定）公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）女性限定公募	
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻土壌生物化学研究室	
3	募 集 内 容	<p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、男女共同参画を推進するため、女性教員を下記のとおり募集します。</p> <p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための研究教育を推進しています。それにより食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目的としています。その中で土壌生物化学研究室では、農耕地を主な対象として土壌生態系の各種生物の機能とそれを支える機構を解明し、作物生産や環境問題に関わる土壌生物の機能制御や有用機能の利活用を目指した研究を推進しています。</p> <p>本助教（テニュアトラック）公募では、農耕地土壌生態系における作物－微生物間や微生物－微生物間の相互作用の解明とその利活用を目指した研究で優れた成果を上げつつあり、当該研究室の教員と協力し、研究室および専攻のさらなる発展に貢献する人物を求めます。また、大学院・学部での教育と研究指導に熱意と責任感、協調性をもって取り組むことができる人物が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命農学研究科の運営に関連する業務 ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程 生命農学演習、土壌学特論、修士論文研究等 ・博士後期課程 博士論文研究 <p>(2) 学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学実験実習、専門セミナー、卒業論文研究等 <p>[勤務地] 愛知県名古屋市千種区不老町</p> <p>[募集人員] 助教（テニュアトラック）・1名</p> <p>[着任時期] 2024年4月1日以降早い時期</p>	
4	募 集 研 究 分 野	大分類	農学・農芸化学
		小分類	植物栄養学および土壌学関連、応用微生物学関連

5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者 ・土壌微生物学、植物共生微生物学あるいは微生物生態学に関連する研究業績を有すること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm
8	応募期間	2023年12月21日～2024年1月22日必着（日本時間12:00必着）
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] (1) 応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） (2) 履歴書（様式任意、ただし性別明記のこと） (3) 研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） (4) 現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） (5) 今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） (6) 大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（800字程度） (7) 大学における社会連携、国際協働についての考え（400字程度） (8) 過去の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費を明記のこと） (9) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項） (10) 類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート (https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html から様式をダウンロードして作成すること。「10. その他」欄を参照のこと。） (11) 応募者について照会できる方2名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス (12) 論文等のPDFファイル（主要なもの5編以内） ・上記の提出書類(1)～(11)を1つのPDFファイルにまとめ、主要論文のPDFファイル(12)とともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP形式）フォルダにしたものを、以下のアドレスに添付で送信してください。 ・メールのタイトルは「助教応募書類（氏名）」としてください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルサイズは全体で 60MB を超えないようにしてください。やむを得ず超えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記してください。 ・応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。 <p>書類の送付先アドレス（電子メール）：kobo_sbc[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えてください。</p> <p>[問合せ先] 名古屋大学大学院生命農学研究科 応用生命科学専攻 土壌生物化学研究室 助教選考委員会委員長 浅川 晋 電子メール：asakawa[at]agr.nagoya-u.ac.jp ※メールアドレスの[at]を@に置き換えてください。 ※その他の問合せについても、委員長宛の電子メールにてお願いします。</p> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施することがあります。 なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。 ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。
10	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究科は男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・応募データは、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募データは、本選考委員会が責任を持って処分します。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html の「様式 1」）の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。